

2年

『冬を探しにいこう』の実践

名寄市立豊西小学校 田中 美枝

◆単元のポイント

名寄市には四季折々の美しい自然があります。浅江島公園やピヤシリスキー場などの社会施設が整っています。地域行事も行われ子供たちを温かく包み込んでくれます。

名寄市の冬の寒さは厳しいです。しかし、寒いからできる楽しみもいっぱいあります。単元「冬を探しにいこう」を設定し、犬ぞり体験を中心に据え、冬を体全体で楽しむ子供たちの姿を求めたいと考えました。

本校児童の約6割の保護者が転勤のある職業についています。そのため、6年間本校に通う子供は少ない。雪の無い地域からの転校生も多く、また、雪の無い地域への転校生も多いのです。そこで、子供たちの心に雪の中で遊ぶ楽しさを染み込ませてあげたいと考えています。

＜犬ぞり体験を中心に据え、地域に親しみ、地域を楽しむ単元の展開＞

犬ぞりを知る（本校の6年生に犬ぞりに取り組んでいる子）

知らなかった！

驚いた！

やりたい！（思い・願い）

地域の素材

地域の人材 地域に目を向ける

地域の自然

《犬ぞり体験》

豊西小ならではの感動的な体験

思い出に残る・心に残る（表現活動）

◆単元の目標

○地域の冬の自然や生活の様子に関心をもち、進んで調べようとする。

また、一連の活動に意欲的に取り組み、冬に積極的にかかわろうとする。

（関心・意欲・態度）

○発見したことや気付いたことをカードや作文等に表現することができる。

（思考・表現）

○季節の変化やそれに伴う人々の生活の変化に気付く。また、冬の楽しい過ごし方に気付く。

（気付き）

◆単元の構成（18時間扱い）

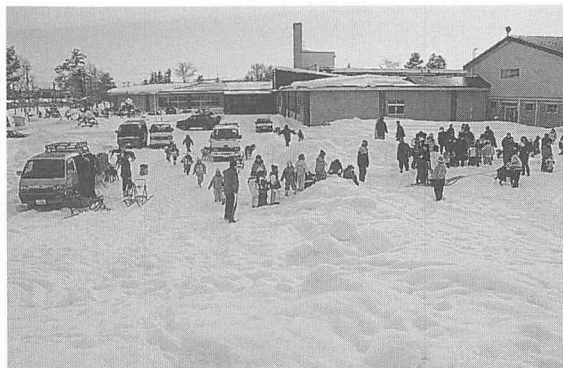
小単元名『名寄の冬はどこにきた？』（9時間）：12月

- (1)「冬との出会い」（冬について興味・関心をもち、進んで調べようとする）
 - ・生活の中で発見した冬、生活の変化
- (2)「冬探し」（地域の季節の変化、生活の仕方の変化に気付く）
 - ・外にきた→浅江島公園・校舎周辺・堤防←自然の変化
 - ・学校や家にきた→学校・自宅←生活の変化
 - ・お店にきた→ お店・買物 ←生活の変化
- (3)「冬はたくさんきていたね」（冬休み中、名寄の冬を生かした遊びをしようとする）
 - ・たくさんあったね！名寄の冬
 - ・冬を楽しく遊べないかな？

☆冬の遊び・地域の冬の行事への積極的な参加（家庭との連携）

小単元名『冬の楽しみ見つけたよ』（4時間）：1・2月

- (1)「冬と遊んできたよ」（楽しかった思い出を発表交流する）
 - ・あのね、こんなことをしたんだよ！
- (2)「知らなかった冬」（犬ぞりに関心をもち、参加への意欲をもつ）
 - ・犬ぞりに乗っている人もいたよ。乗ってみたいなあ！
 - ・犬ぞり体験の準備をしよう。
- (3)「さあ、犬ぞりに乗るぞ！」（犬ぞりの体験を楽しむ）



小単元名『思い出伝えよう』（5時間）：2月

- (1)「思い出残したい」（冬の生活で心に残っていることを自分なりに工夫して発表する）
 - ・冬の思い出発表会→1年生に教えてあげようよ。

◆実践するにあたって

北国ならではの犬ぞり体験を実現するためには、地域の犬ぞり専門家の協力が不可欠です。教師が事前に誠意をもって連絡を取ること、子供たちの指導者とのかかわり方に配慮して単元を展開しました。